

# 令和2年度 愛知県特定健診・保健指導研修会（事業運営編）

## 研修実施報告

### 1. 日程・内容等について

#### 【目的及び趣旨】

特定健診・保健指導（第三期）制度を理解し、効果的な保健事業運営や事業評価を学ぶことで、特定健診受診率、保健指導実施率向上を目指すことを目的とする。

#### 【方向性】

感染症拡大予防のため、インターネットを利用したweb研修を実施

#### 【期 間】

令和2年12月11日（金）午前10時00分から令和3年1月15日（金）午後5時00分まで

#### 【対象者】

愛知県内で特定健診・保健指導の事業運営に携わっている（1）～（3）の方

- （1）保健指導受託機関等の特定保健指導事業の企画・運営者（事務職等）
- （2）市町村・事業所等の医療保険者
- （3）特定保健指導チームのリーダー的立場にある専門職

#### 【方 法】

動画配信サイト（YouTube）の限定公開を利用し、参加申込者が講義動画を視聴する

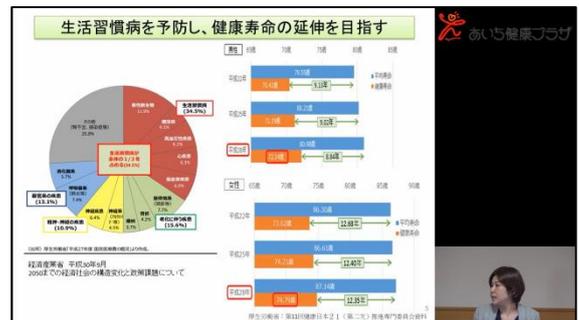
#### 【カリキュラム】

	内容	ねらい	リーダー	運営 責任者	講義 時間
1	講義 「特定健診保健指導（第三期）における 効果的な事業運営と評価に向けて ～制度の理解と計画立案～」  あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部 指導者養成課 栄口 由香里	特定健診・特定保健指導（第三期）を効果的に実施するために、特定健診保健指導の意義や基本的な考え方、進め方、外部委託の際の留意事項を理解する。また、対象者の特性に合わせた保健指導を立案するための新たな保健指導プログラムについて紹介する。	◎	◎	約28分 事務連絡を含む (動画)
2	講義 「特定健診保健指導（第三期）における 効果的な事業運営と評価に向けて ～事業評価と改善方策～」  あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部 指導者養成課 栄口 由香里	保健事業を評価する際、PDCAサイクルに沿った事業評価を行う。評価の構造指標は、ストラクチャー・プロセス・アウトプット・アウトカムに沿った指標を設定することが望ましい。具体的な評価指標と評価の時期、改善策の検討について情報提供を行う。	○	◎	約16分 (動画)
3・4	事例紹介①保健指導の実施率向上  「医療機関における初回分割方式導入 ～特定保健指導終了率向上に向けて～」  刈谷市役所 福祉健康部 健康推進課 洲崎 麻子様	特定保健指導実施率向上のためには外部機関との密な連携が重要である。特定健康診査受診率・特定保健指導実施率の現状を踏まえ、健診当日から早期に生活習慣改善に取り組むため、医療機関における初回分割方式を導入した。実施にあたっての具体的な取組みについて紹介する。	○	◎	約18分 (動画)
	「特定保健指導の実施率向上に むけた取り組み」  愛鉄連健康保険組合 業務企画部健康管理課 課長 伊佐次 久晃様	健康保険組合は加入事業所の健康を見守るため、事業所の特徴に合わせた保健事業を推進している。事業所によって特定保健指導実施率には格差があり、保険者としては対象者を減らすあるいは実施者を増やす取組みが重要である。事業所訪問やニーズに応じた対応事例を紹介する。	○	◎	約15分 事務連絡を含む (動画)
5	事例紹介②健診結果のフィードバック  「協会けんぽ愛知支部の 未治療者受診勧奨事業」  協会けんぽ愛知支部保健グループ 保健グループ長補佐 高橋 潤 様	健診の事後フォローとして、健診結果に基づき本人に分かりやすくフィードバックする必要がある。第3期からはインセンティブに係るガイドラインにも報告事項として位置づけられた。確実な医療機関受診を要する方へのフィードバック方法について取組みを紹介する。	◎	◎	(資料)

本年度は「特定健診・保健指導実施率の向上のための事業運営・評価について考える」をテーマに4人の講師に講義や事例紹介をしていただきました。

●「特定健診保健指導（第三期）における効果的な事業運営と評価に向けて～制度の理解と計画立案～」

当センターの栄口より、特定健診・保健指導の意義、基本的な考え方や、外部委託時の留意点等について説明し、対象者の特性に合わせた計画立案のためのプログラム例を紹介しました。



●「特定健診保健指導（第三期）における効果的な事業運営と評価に向けて～事業評価と改善方策～」

当センターの栄口より、PDCA サイクルを意識した具体的な評価指標と評価の時期、保健事業の改善策の検討と他事業への連携について、標準的な健診・保健指導プログラムの手引きの流れに沿って紹介しました。

特定保健指導の評価指標例	
評価の構造	評価指標
ストラクチャー (構造) 「体制は整っているか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算、人員、体制、トップの理解</li> <li>関係者間連携、他機関との連携</li> <li>保険者やアウトソーシング先との調整</li> <li>教材やマニュアル作成</li> <li>保健指導者の研修</li> </ul>
プロセス (過程) 「うまく運営できたか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係者間で連携状況を確認できたか</li> <li>対象者にあった実施方法、内容だったか</li> <li>実施時期、内容は的確だったか</li> </ul>
アウトプット (実績) 「ちゃんと実施できたか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定保健指導実施率、継続率、完了率</li> <li>実施回数や実施人数は計画どおりか</li> </ul>
アウトカム (成果) 「結果は出ているか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>(短期) 利用者の関心度や満足度、行動変容ステージ変化、生活習慣や検査値の変化、メタボ改善割合</li> <li>(中長期) 保健指導利用者 vs 非利用者比較</li> <li>健保者全体のメタボ該当率や健康状態、医療費、休業日数、長期休業率</li> </ul>

●「医療機関における初回分割方式導入  
～特定保健指導終了率向上に向けて～」

刈谷市役所福祉健康部健康推進課の洲崎様より、特定健康診査受診率・特定保健指導実施率の現状を踏まえ、医療機関における初回分割方式の導入経緯から、実施にあたっての具体的な工夫や、医療機関との連携について事例紹介していただきました。



●「特定保健指導の実施率向上にむけた取り組み」

愛鉄連健康保険組合業務企画部健康管理課課長 伊佐次様より、事業所の特徴や対象者のニーズに合わせた特定保健指導を推進する取り組み事例をご紹介いただきました。事業所訪問や外部委託、健康経営の推進など、あらゆる視点から事業を進めることの重要性を学びました。



●「協会けんぽ愛知支部の未治療者受診勧奨事業」

協会けんぽ愛知支部保健グループ保健グループ長補佐高橋様より、確実な医療機関受診を要する方への受診勧奨文書の工夫や方法について紹介していただき、対象者に分かりやすく受診につなげることの必要性を学びました。



●業務遂行能力チェックリスト

健診・保健指導の研修ガイドライン(平成30年度4月版)

の業務遂行能力チェックリストを配布し、研修前後で

各自評価を行っていただきました。

業務遂行能力チェックリストは、保健指導チームのリーダー的立場にある専門職または、特定保健指導事業の運営責任者(事務担当者等)の2種類から1つ選択していただきました。

業務遂行能力チェックリスト【保健指導チームのリーダー的立場にある専門職対象】

所属  職種  リーダー的立場経験年数: 年  
氏名

(1)研修前: 下記項目に対し、知識・技術の習得度を4段階で評価し、1,2,3,4いずれかの数字を入力して下さい。

(2)研修後: ①下記項目

②特に理解

業務遂行能力チェックリスト【特定保健指導事業の運営責任者(事務担当者等)対象】

所属  職種  リーダー的立場経験年数: 年  
氏名

(1)研修前: 下記項目に対し、知識・技術の習得度を4段階で評価し、1,2,3,4いずれかの数字を入力して下さい。

(2)研修後: ①下記項目に対し、知識・技術の習得度を4段階で評価し、1,2,3,4いずれかの数字を入力して下さい。

②特に理解が深まった項目には○をつけて下さい(複数回答可)。

獲得目標	習得が求められる知識や指導技術	低				高	②理解が深まった: ○
		1	2	3	4	①	
特定保健指導の理念・目的を理解している							
保健指導対象者の選定基準を説明できる							
保健指導プログラムの具体的な内容について分かりやすく説明できる							
他保険者・機関等の実施状況等の情報を収集している(ハンズマーク)							
保険者のデータヘルス計画を理解し、必要な保健事業を提案できる							
専門用語の理解に努め、専門職種とのコミュニケーションが取れる							
保健指導プログラム実施に関すること							
プログラムに関する報告・連絡・相談の対応等、プログラムを統括している立場の者と相談する機会を設けている							
事業の実施状況は上司等・幹部に報告できる(自治体であれば、首長や議員、国民健康推進委員会等に適切なプレゼンテーションができる)							
必要な予算を確保できる、もしくは予算の配分ができることを明確にできる							
必要な保健指導者を確保できる(スキル、人員、職種の違い等)							

2. 申込・視聴回数について

【申込者数】209名(男:36名、女:173名)

【所属別 申込者数】

保健所	市町村	企業	健康保険組合	医療機関	保健指導機関	その他	合計
11名	56名	36名	40名	25名	25名	16名	209名

【職種別 申込者数と割合】

医師	保健師	看護師	管理栄養士	事務職	管理者	その他	未回答	合計
2名	119名	8名	30名	36名	6名	7名	1名	209名

【経験年数別 申込者数と割合】

無し	1年未満	1~3年	4~6年	7~9年	10年以上	経験有無未回答	年数未回答	合計
86名	2名	67名	27名	5名	14名	2名	6名	209名

【視聴回数】平均247回

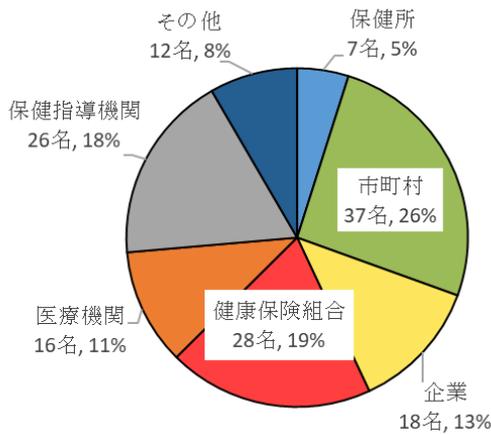
(全4本の動画の視聴回数より平均視聴回数を算出)

### 3. アンケート結果について

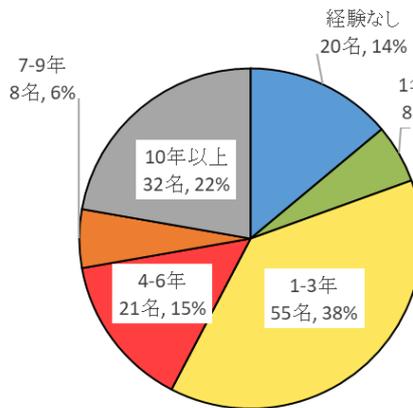
【回収状況】 144 名から回収（回収率 68.9%）

#### 【質問項目のまとめ】

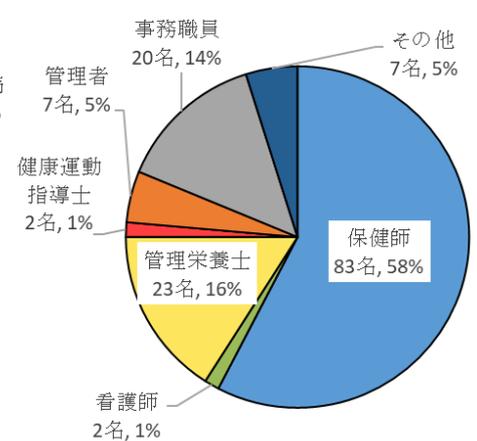
##### (1) 回答者の所属



##### (2) 職種

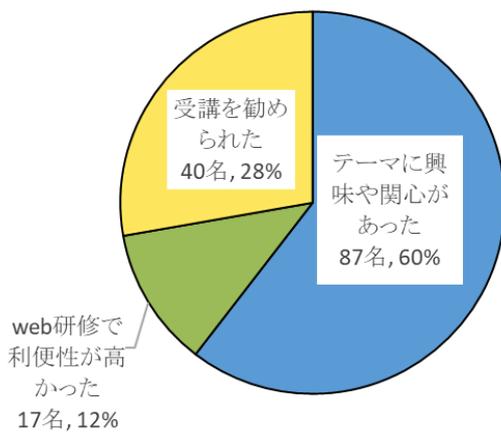


##### (3) 経験年数



##### (2) 受講した理由

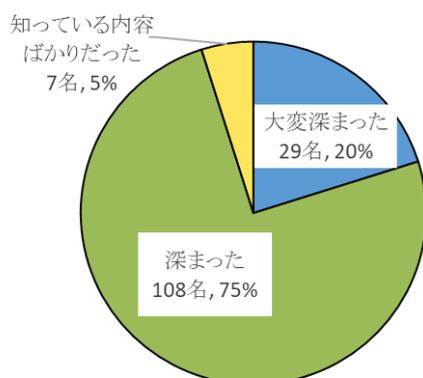
(設問から最も近いものを1つ選んでもらった)



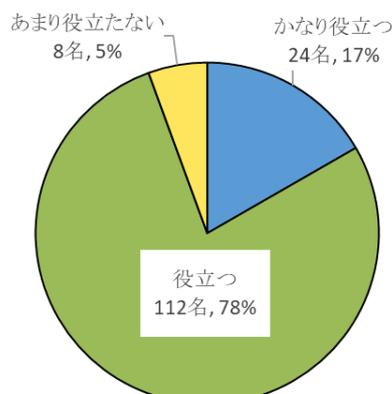
自由記入欄より（一部抜粋）

- ・保健指導の利用率向上のため分割実施や委託などの事例を知りたかったため。
- ・今年度より保健師2名体制となり、しっかりとした体制づくりが必要と考えたため。
- ・知識技術編は受講したことがあるが、事業運営編はなかったため、一人で指導運営している以上知っておく必要があると思ったため。

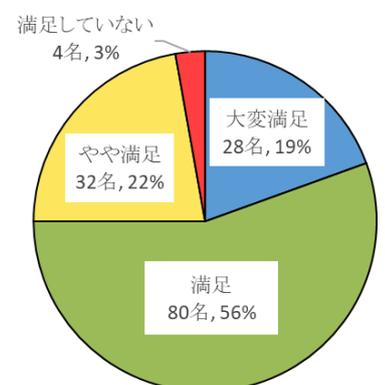
##### (3) 知識の深まり



##### (4) 役立ち度



##### (5) 満足度



## (9) 受講者の感想（自由記載から一部抜粋）

### <研修全体について>

- ・事業運営編を行っていくにあたってのPDCAサイクルの重要性について再認識できた。  
また、評価していくにあたっての指標を明確に揃えていくこと、基本ですが今一度振り返って見直していきたい。
- ・実施率向上やデータヘルス計画、評価方法などの内容がためになった。
- ・保健指導についての進捗管理シートが資料にあった事がとても参考になった。
- ・早期の生活習慣病改善に向けた、初回分割方式についての理解を深めることができた。
- ・愛鉄連さんの講義で受診率の高さに驚いた。なかなかコロナのこともあり、直接の営業には出向けないが、経営者への営業活動が非常に大切だと認識した。
- ・健保や自治体での保健指導実施向上に向けた取り組みが理解でき、今後も今まで以上に保健指導の実施率が向上するよう健診での声かけができるといいと感じた。

### <web 研修に参加して>

- ・web 研修となり受講時間が自由にとれて便利だった。
- ・動画視聴は、もう一度見たい部分を繰り返し視聴できるため、理解度が高まった。
- ・コロナ禍において安心して研修が受けられるとともにスキルアップの機会になった。
- ・動画でも知識を得ることはできたが、他社との情報交換ができなかったのが残念だった。

### <次回研修会の要望>

- ・他社の実施率向上・改善率UPのための施策を今後も知りたい。
- ・医療機関との連携方法を具体的に知りたい。
- ・愛知県より、健診・保健指導の実績、データ、既存調査結果等から事業の現状・課題・方向性等が聞きたい。
- ・IoTについて、どのようなもの（例えばアプリ）があるのか、その効果的な活用方法などを学びたい。
- ・途中脱落を減少させるための工夫や方法、実際に行っていることを知りたい。
- ・近隣での連携ツールなどを知りたい。
- ・初回分割実施による実施率向上の事例紹介。
- ・受診率を高めるための営業活動用データ作成ノウハウ。
- ・モデル実施の事例紹介。
- ・ナッジ理論について学びを深めたい。